



令和3年11月2日

杉戸町議会議長
須田 恒男 様

政
議席番号1番 岩崎 直美

政務活動結果報告書

下記の通り、研修会に参加してきましたので報告いたします。

1. 研修名 : よくわかる市町村財政分析基礎講座
2. 研修日 : 令和3年10月21日～22日の2日間
3. 研修場所 : 財政デザイン研究所
4. 研修内容 : 自分の自治体の財政状況を把握するために、主に総務省が公表している決算カード、類似団体比較カードや財政状況資料集のどこに何が記載されているのか、財政状況を知るための方法を学ぶ講座。
第1講 決算情報をいかに予算審議と連動させるか
第2講 歳入の仕組みを考える
第3講 歳出の仕組みを考える
第4講 様々な財政指標の見方・読み方・使い方
第5講 類似団体比較カードと財政状況資料集のイロハ
第6講 地方交付税制度の基礎・臨時財政対策債
第7講 当面コロナウイルス禍の自治体財政の課題
講師 大和田 一紘氏
NPO 法人多摩住民自治研究所理事
東京都環境科学研究所研究員、中央大学社会科学研究所
客員研究員、埼玉大学、法政大学などを歴任
5. 研修結果 : 市町村固有の社会状況や財政運営を、決算カードや類似カー

ド、また財政状況資料集を使い、杉戸町の決算額の推移、歳入決算額の構成比の推移、経常一般財源、財政指標などをワークシートに記入し財政分析をしていく方法を学ぶ事ができました。

特に、類似団体比較カードからは、

1. 財政運営の堅実性（やりくり上手）
2. 経済変動や地域社会の変化に耐えうる弾力性（ゆとり）
3. 住民のニーズに応え、行政水準の向上や満足度を確保する。住民生活の向上や地域経済の発展に対応する。（町民的公共性）

について講義があり、杉戸町と類似した条件にある団体の財政運営の実態を捉えて比べることで、自らの財政運営の特徴を容易に捉えることができ人口一人当たりの財政状況の比較も可能です。

また、基本である地方行政における地方財政の三権分立、行政権、立法権、司法的役割を学びました。

新型コロナウイルスの感染拡大は、大規模な自然災害に似た側面がありました。令和2年度と3年度の予算及び決算は度重なる補正予算により財政負担が拡大し、財源規律が失われつつあります。具体的には、目的別歳出による民生費、衛生費の割合が拡大している中、性質別歳出による投資的経費の割合が抑制されているか。性質別歳出による扶助費の割合が減少していないかなども課題として学びました。

講座のテーマどおり＜習うより慣れろ＞手書きでひとつひとつ書き込み経年的に比較することに意味があること。総務省のホームページに地方財政状況調査関係資料が公開されていて、その決算カードをどのように読むのかを理解することにより、全ての国民が自分の住む自治体や他の自治体の財政を学ぶ機会が与えられ、そこで得られた情報から、経年的なグラフ作成をし、町のやりくりが考えられます。

今回受講し、住民の立場に寄り添って考え、限られた財源をどのように町民的に使うのかなど、学ばせていただきました事に、心より感謝申し上げ、今後の議会活動などに活用し、町政に役立てるよう取り組みます。